

平成23年11月20日執行

郡山市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

## てしがわら正之は郡山の声を県政へ

てしがわら正之は放射線の不安を取り除く事を復興の第一歩とし  
ふるさと郡山市のまちづくりに情熱をそそぎます。



### てしがわら正之の略歴

昭和27年 郡山市で生まれる  
昭和39年 郡山市立樋小学校卒業  
昭和42年 郡山市立第三中学校卒業

昭和45年 福島県立安積高校卒業(第83期)  
昭和49年 日本大学工学部土木工学科卒業  
昭和49年 郡市役所 奉職  
平成 6年 郡山市役所を退職

平成 7年 郡山市議選初当選  
平成11年 郡山市議選2期当選  
平成15年 郡山市議選3期当選  
平成19年 福島県議会議員初当選

■趣味 読書・旅行・映画鑑賞  
■信条 物事を最後までやりぬく  
■好きな言葉 楽天知命

## とり戻そう みんなのふる里! 『新生ふくしま』の創造に向けて

- ①放射性物質の除染推進
- ②住民の継続的健康管理
- ③医療等先端産業の集積
- ④産業の振興と就労支援
- ⑤地域再生工ネ導入促進



てしがわら  
まさゆき  
正之

自由民主党  
昭和27年3月17日生  
59才

## 除染、全面賠償、廃炉… 相手は東京電力と政府です

# ズバリものが言える代表として働かせてください



かみやま 悦子  
神山えつこ

県議会議員3期  
日本共産党公認

東電と政府のまき返し許さず  
必ず実現・実行させます

### みなさんと力をあわせて実現します

- ◆「仮置き場」と費用は 国の責任で市全域の除染を
- ◆賠償支払い方法の簡素化 すべての損害への全面賠償を
- ◆原発廃炉の実行 自然エネルギーへ転換を

- 地震・水害の被災住宅 一部損壊に県が助成を
- 子ども医療費は18歳まで 健診・がん検診を無料に
- 特養老人ホームの増設 学校耐震化で仕事と雇用を

### 財源はあります

- (1) 原発推進の積立金 4・8兆円を除染・賠償に
- (2) 原発推進企業から拠出を 内部留保は80兆円
- (3) 「復興財源」名目の 11・2兆円の庶民増税ゆるさず 12兆円の大企業減税は中止
- (4) 政党助成金 年320億円を復興資金に

大激戦です。ご家族・ご友人に  
ご支持を広げてください。  
心からお願いたします。

公明党 公認

福島復興のために、いまいちばんお役に立ちたい!

# 安心と希望を!!

福島県は、**脱・原発**  
安心の郡山へ!  
放射線から、  
子どもと地域を  
守ります!



いま  
ひろまさ  
久敏

### 元気なふるさと、うつくしまを。

大震災、また水害で被災された皆さま  
に心からお見舞い申し上げます。

私、いま久敏は、2期目に挑戦させて  
頂くことになりました。県民一人ひとりの  
声と心を大切に、「元気なふるさと」うつく  
しまを取り戻すため、全力で働いて  
まいります。皆様の力強いご支援を何卒  
よろしくお願い申し上げます。

### いま久敏の約束。

- 原発に頼らない県土づくりを推進。
- 再生可能エネルギーの飛躍的導入。
- さらなる除染体制の強化。
- 全県民の健康を守る医療拠点を整備。
- 15歳未満の子どもの医療費無料化を推進。
- 食品検査の強化で安心確保。
- 復興・子ども特区の早期実現。
- 水害に強いまちづくりを推進。

### プロフィール

[現職] ●公明党県幹事長 ●総務常任委員  
●議会運営委員 ●議会広報委員 ●咲田第  
二町会長 ●芳山方部町会連合会会長 ●芳  
山地区保健委員会副会長 ●郡山中央町内  
会連合会理事 ●平和通り商店街顧問

■昭和28年 11月12日宮城県生まれ。58歳  
■昭和37年 郡山市へ転居。赤木小、第五中、  
県立郡山西工業高校(現郡山北工業高校)  
を卒業  
■昭和47年4月 ジョンソンエンドジョン  
ソン(株)入社。(同60年4月に科学技術庁長  
官賞受賞)。平成7年2月退職  
■平成 7年4月 郡山市議会議員選挙に  
初当選。3期連続当選  
■平成19年4月 県議会議員選挙に初当選。  
現在1期

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。  
候補者等が選挙公報をホームページに掲載することや印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触  
するおそれがあります。

平成23年11月20日執行

郡山市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



よしだ きみお  
民主党公認  
**吉田公男**  
55歳

## 原発はもういらない!

災害現場を知る唯一の県会議員として  
安全な福島県を作るため、  
全力で働かせてください。

命の絆を守りたい。



皆様のご支援を得て、県議2期を務めることができました。3月11日に発生した東日本大震災と福島原発事故災害では、県民を守り得なかったことに深い後悔を感じ、心からお詫びいたします。  
しかし、現職の県会議員として、福島県に改善を求め、他県より一歩進んだ救援活動を行うことができました。9月に発生した、台風15号水害でも、浸水家屋の床下の汚泥の放射線除染問題を県議会でいち早く取り上げました。必ず安全で安心して暮らせる福島県を取り戻します。全国、県内のNPOの仲間とともに、現在もこれからも救援活動を続けて参ります。

吉田公男 心のお約束

## 「脱原発」を進めます!

原発廃炉を前提条件として、福島県の復興を進めます。すべての県民が安心して住めるよう、除染を進めます。長期にわたる健康管理を行い、命を守ります。原発事故による全ての損害を賠償させます。

1 福島県の復興なくして日本の再生なし!

2 災害救援の専門家として

3 NPO・ボランティアの代表として

4 福祉の現場の議員として

高齢者が「歳を重ねてよかった」  
障がい児の親が「この子を生んでよかった」  
と思える社会が絶対必要!



五十七歳  
**佐藤のりやす**

2つの「まっすぐ」宣言で  
ふるさと再生・再興。

1 大胆にふるさと再生宣言!

未曾有の震災による被害は、想像を絶するほど甚大で復興への道は険しいものです。「まったく新しいふくしまを創る」という「意気込み」と「がなければ到底成し遂げられません」。農業・観光・サービス・教育...あらゆる産業や従来の仕組みを根本から考え直す大胆な発想が必要です。

2 脱原発と分かりやすい賠償要求宣言!

福島県は日本の発展のために、国のエネルギー政策に則して、首都圏への電力供給に協力してきました。すべての産業の正当な損害賠償をしっかりと求め、被害に遭われたすべての人々が、新しい生活基盤を再建し、確実にスタートできるようにします。

ふくしま元氣回復の道はただ一筋。

3つの「まっすぐ」政策で

ふるさと再生・再興。

1 放射能から子どもたちを守り安心・安全に暮らせる「愛されるふるさとへの道」をつくるために、まっすぐ努力します。

2 数値にかかわらず徹底した除染体制確立

3 再生可能エネルギーへの交換推進

ふるさとの農林水産業をしっかり守り

● 食品の徹底モニタリング検査

● 風評被害の歯止めと防止

● 正しい放射能の知識の啓蒙

3 今以上に迷走する国の復興政策。国政に喝つ!

- 国による除染費用全額負担促進
- 年間放射線量による地域格差の解消
- 復興基金の積み増しと有効利用策の提言



民主党公認  
国民新党推薦  
連合福島推薦  
前郡山市議会議員  
さくま しろ  
**佐久間としお**

市議 四期十六年の実績

夢 大きく 愛 深く 力 強く

ふくしまをつくる

☆除染の徹底

- 一、県民の安全・安心・安定を前提にエネルギーのブロックとして、原発事故の早期収束と除染に取り組みます。
- 一、県民の徹底した健康管理と放射線医療施設を創設します。
- 一、放射線量計を児童・生徒に配布し、線量の見える化に取り組みます。

☆地域振興と雇用対策

- 一、復興に向けた取組みの中で新たな雇用を創出します。
- 一、県内企業の法人税を免除し、既設企業の定着化と新規企業の誘致を目指します。

☆水害に強い街づくり

- 一、国県市の連携による総合治水対策、消防団への支援を強化するなど、水害に強い街づくりを目指します。

☆生活しやすい福島づくり

- 一、高齢者が安心して暮らせる環境づくりと障害者の経済的負担の軽減を図ります。
- 一、特定健康診査受診率・がん検診率100%、HIV感染予防によるエイズの撲滅を目指します。

二百万県民の

命と健康は

私が守ります

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報をホームページに掲載することや印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成23年11月20日執行

郡山市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

ひとりひとりが明日に希望を持ち、地域が輝く福島の元気、実現します。

若い力にたくして!

**たけお しいね健雄**  
34歳

健康と環境を重視した世界のモデルとなる都市づくり!

農学部出身の経験を活かして全力投球!

**【重点政策】**

- 原発事故賠償
- 産業復興
- 地域再生
- 復興特区実現(税・医療)
- 健康を守る除染
- 高校まで医療費免除
- 農業再生・風評打破
- 再生可能エネルギーへの注力
- 脱原発

この福島を、豊かな未来へとつないでいける様、全力を尽くして参ります。

かつて私たちの祖先は、大変な苦勞をして安積疎水を開通させました。荒地地だった郡山を開墾し、豊かな地域を作り出した先人たちの思いに、今こそ応えるべきときです。

私は、おいしくて安全な福島の産物が食べられ、子供たちが笑って暮らせる福島を想像します。それは長い戦いになるでしょう。たどり着くのは簡単ではないかもしれませんが、しかし、何も決断しなければそれで終わりです。かつて私たちの祖先は、大変な苦勞をして安積疎水を開通させました。荒地地だった郡山を開墾し、豊かな地域を作り出した先人たちの思いに、今こそ応えるべきときです。

## 「福島百年の計」

しいね健雄の決意表明

今、原発や地震の問題により、福島の未来が危機に瀕しています。今後、放射能の影響がどう出るのか。多くの人が悩み、苦しみ、疲れています。

この閉塞感を打破するのは、素早い意思決定と実行であると思います。原発補償問題の解決や除染など、いま出来ることは、すぐ決断すべきです。

素早い決断を下す為には大まかな方向性、政治の哲学が必要です。この福島に百年後、どうなっていて欲しいのか？

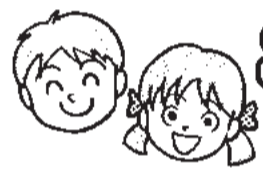


民主党 新人

# しいね健雄

34歳

■プロフィール  
◎郡山市日和町生まれ(昭和52年1月) / 郡山市立大島小学校卒業(大島スポーツ少年団ソフトボール所属) / 郡山市立第五中学校卒業 / 福島県立安積高等学校卒業(108期) / 新潟大学農学部卒業 ◎しいね互動務 / 参議院議員増子輝彦秘書 / 現在、祖父・父母と日和町在住



## 子どもが安心して暮らせる福島をめざします!

**やえがし小代子のプロフィール**

**経歴**

- 駒澤大学経済学部卒業
- 2007年4月5期目当選
- 郡山市議会文教福祉常任委員会委員長
- 郡山市監査委員
- 郡山市議会少子高齢社会対策特別委員会委員長

**現職**

- 社民党福島県連合副代表
- 生活協同組合あいコープふくしま理事

- 除染作業を急ぎ、子どもたちの安全を守ります
- 子どもたちの被ばく量を抑えるため、学校、通学路だけでなく自宅の除染作業を急ぎます。自治体に対しては、住民任せにするのではなく、具体的な指導、相談等に応じられるよう最大限の支援体制を求めます。
- 子どもの免疫力を高めるため、放射能のない(ごく少量の)地域に「林間学校」「移動教室」を設置します。
- 除染作業で出た汚泥などの最終保管、処分方法については、東京電力、政府が責任を持って行うこととし、それまでの仮置き場は、地域住民の合意のもと、安全管理を徹底して設置します。
- 食の安全・安心確保
  - 学校給食食材の放射能検査を徹底します。
  - 市場に出回る食品の放射能の検査結果を表示します。
  - 身近なところに放射能を測るベクレル計を配置します。
- 健康診断、調査の継続的実施
  - 子どもたちの甲狀腺検査をはじめ、健康診断を全生涯を通して定期的・継続的に、結果を保護者に周知し、費用全額を国と県が負担します。
  - 全県民の被ばく調査、母乳検査(無料)等を継続的に実施。健康手帳を配布します。
- あらゆる損害への賠償を求めます
  - 原発事故で失われた全ての損害、除染費用、自主避難費用を含めて賠償を東京電力、政府に求めます。
- 脱原発・エネルギー政策の転換(1)「暮らしを応援します」
  - 原発事故を一刻も早く完全収束させ、福島第一・第二原発の廃炉と安全で再生可能なエネルギーへの転換を求めます。
  - 福島の復興・再生を進め、雇用、くらしの確保を実現します。
- TPP参加に反対します
  - 農業、雇用、中小企業、医療を始め国内産業を衰退させ、大企業の利益を拡大させるだけのTPP参加に反対します。



社会民主党

# やえがし小代子

**山田平四郎**  
プロフィール

- 出身  
昭和28年(1953年)  
郡山市生まれ(57歳)
- 学歴  
郡山市立谷田川小学校卒業  
郡山市立谷田川中学校卒業  
福島県立安積高等学校卒業  
明治大学商学部卒業
- 役職  
若関酒造株式会社 代表取締役  
郡山酒造協同組合 理事長  
福島酒造組合 理事  
社郡山青年会議所 第32代理事長  
元 日大東北高等学校後援会 会長  
前 安積高等学校 PTA会長

- 「夢」を持ち、熱い「情熱」で、福島の「飛躍」を誓う。
- 農業
  - 県の基本農業を守ります。
  - 豊かな大地、豊かな自然を守り育てることが農業の基本。そのために、希望の持てる持続可能な農業経営を実現します。
- 教育
  - 安心して子育てができる社会をつくりたい。
  - 子供は地域の宝。その宝を安心して育てられる環境整備を実現します。
  - お金のバラマキではない、心の通う政策を実現します。
  - 親の心と子の心の絆を大切にしたい。
- 地域振興
  - 人と環境のバランスの取れた地域振興を推進します。
  - 環境重視の産業振興策を推進します。
  - 地域の豊かな自然を後世に引き継ぐ環境整備を推進します。
  - 安全・安心な生活のできる地域づくりを推進します。
- 暮らし
  - 安心して暮らせる地域づくりに取り組めます。
  - 地域の働く場の創出に取り組めます。
  - 地域の特性を活かした地域開発に取り組めます。
  - 過疎地対策に取り組めます。
  - 原子力発電に変わるエネルギー対策に取り組めます。



白山民主党公認

# 山田平四郎

五十七歳

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報をホームページに掲載することや印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成23年11月20日執行

郡山市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

40年間の幼児教育  
遼瀾川の環境活動や  
YOSAKOIを通して  
「人と地域」づくりを  
長年続けてきました。

## 長尾トモ子のあゆみ

- S23.8. 郡山市に生まれる。  
郡山市立富田小・第六中・  
安積女子高校(現黎明高校)  
を経て、郡山女子短大保育  
科卒業。
- S44.4. 知的障害者施設ばんだい  
学園の保母として勤務。  
(3年間)
- S48.4. 学校法人今泉学園双葉幼  
稚園教諭主任。  
(14年間)
- S63.2. チャイルドハウスうねめ  
保育園を開園。(25年間)  
※郡山食品工業団地はなさと保育園  
園長、学校法人志賀学園並木幼稚園  
副園長などを兼任
- H17.4. 自民党公認で福島県議会  
議員補欠選挙初当選。  
(農林水産委員会)
- H19.4. 2期目当選  
(福祉公安副委員長)  
(企画環境副委員長)  
(自民党県連  
広報副委員長)

## 守ります！子ども達の未来を！！

～教育特区や経済・産業特区で新生福島を創ります～

### わたしの緊急施策

- ① 放射能被害から子どもたちを守ります。**  
線量の少ない場所に子どもの集団生活施設を作ったり、農産物の測定器を学校等に設置。健康被害調査と長期健康管理を無料で行います。
- ② 人との絆を大切にしたい安心安全なコミュニティをつくりたい。**  
災害の時こそ人との絆が大切です。支え合いの心を大切に、幼児から高齢者まで心と心をつないで元気な福島を創ります。
- ③ 再生可能エネルギーを導入し、脱原発の福島をつくりたい。**  
風力・太陽光・バイオマスなどの再生可能エネルギー中心の地域振興を進めます。
- ④ 郡山に、放射能医療センター、放射線環境センター等を創設し、長期的健康管理体制をつくりたい。**  
世界の英知を集めて国際研究機関を設置します。



自民党公認

# 長尾 トモ子

## 子どもたちに未来を！

放射能から子どもたちを徹底的に守り、  
子どもたちが安心できる環境と未来を築いていきます。



# 若さ30代

**政策 2** 地震災害復旧の  
スピードアップ

**政策 3** 未来のふくしまを  
創る成長復興

**政策 4** 行政改革で  
ムダをなくします！

**政策 5** 教育改革・  
子育て世代支援

みんなの党

1975年7月7日  
からあげ弁当で有名だった  
五百淵亭の息子として生まれる！

1982年3月 郡山女子大学付属幼稚園卒業  
1988年3月 郡山市立豊小学校卒業  
1991年3月 郡山市立第一中学校卒業  
1994年3月 福島県立安積高等学校卒業  
1998年3月 法政大学経営学部経営学科卒業



みんなの党公認  
つじまさひこ  
三十六歳

## 原発は廃炉

### まずはふくしま再生！！



自由民主党  
柳沼純子

**徹底した除染を推進**

- 生活空間(家屋・庭・道路・側溝・学校・保育所・公園などの除染を推進します。
- 土壌(田畑・山林・牧場など)や海・河川の除染を進めます。

**県民の健康を守る**

- 全県民を対象とした健康調査と十八才以下の甲状腺調査を速やかに実施します。
- 内部被曝を検査するホールボディカウンターを増設し、県内の全ての子ども及び妊婦を最優先に調査を実施します。
- 放射線モニタリングを強化します。

**食の安全を守る**

- 米・野菜・果樹・きのこ・食肉・牛乳・水産物・加工食品などの本県産食材の放射線量調査を強化し、食材の流通を厳格に管理します。
- 食品を検査する機材の設置をすすめ、検査体制を強化します。
- 検査結果を全て公表し、消費者の理解促進に努めます。

**風評被害をなくす**

- 風評被害を払拭する各種PR活動やイベントの全国展開を実施します。
- 観光地の復興に向け国の内外に正しい情報を発信します。

**子どもの育成と教育を充実**

- 被災した学校施設・幼稚園・保育所の早期復旧を図ります。
- 私学に対する復旧支援強化と運営費補助の充実を図ります。
- スクールカウンセラーの体制強化等、心のケアを充実します。

主な経歴

- 平成15年4月福島県議会議員
- 県議会農林水産委員会副委員長
- 自民党県連女性部長
- 自民党県連財務委員会会長